

## ボランティア・

## インタビュー

## 南区特集

## 第2弾!!



今回のセンターだよりは、庄瀬の地域活動を背負って立つ？西山家の人々から、それぞれの活動についてお話しをお聞きしたインタビュー。

八面六臂、縦横無尽、獅子奮迅と形容はいろいろあれど、ここの家族の活動量は半端ない。なぜ、人はボランティアをするのかの一つの回答が見えそうです。一人の当人は仕事であってボランティアの意識はないというけれど、普通仕事でそこまでするかというレベルの活躍ぶり。

賛同者は是非一緒に活動してください。庄瀬地域の未来は輝いておられます☀

## 西山家の人々

### はじまりは影絵サークル

庄瀬に影絵サークルというのがあるんて。立ち上げたのが、ままやの大家さん・渡辺建設の奥さんで、影絵の勉強に福島サークルまで視察に行ったりして熱心だったんて。影絵サークルは平成7年に10人程で発足してから今もずっと続いていて、今年の5月に白南中学の総合学習で堀部安兵衛の影絵を披露したんだよ。

影絵サークルのメンバーになったところは40代で、会社勤めしながら庄瀬公民館の副館長として、公民館が主催する農村公園祭りとたくさん事業もまかっていたんて。今考えると、いろいろなボランティア活動をするようになった始まりは、副館長を務めた時からだね。

ままや結成の言い出しっぺは現会長の高橋さんで、庄瀬の果物や植物で加工品を作ってみないか、と平成8年に影絵サークルのメンバーに持ちかけたんて。最初はブドウやイチジクのB品をもらって、空き家になった会社を借りてジャム作りをしたり、廃校になった高校の畑でエゴマを栽培して校舎で干して油を搾ったりしてたんて。なんかチーム名をつけようということになって、ママ屋・お母さんの店、という意味で“ままや”と命名。まだみんな若かったからママだったんさ(笑)。



### 西山久子(にしやま ひさこ)さん

しなのがわ工房ままや(以後、ままや)役員  
田上町生まれ。  
電子部品製造会社に勤務するかたわら、庄瀬地区公民館の副館長に就任。以後、影絵サークルを皮切りにままやを始め多くの福祉活動、地域活動に携わる。

新潟南地区更生保護女性会(以後、更女)  
庄瀬小学校スクールサポーター  
放課後児童クラブ「しょうぜっ子クラブ」スタッフ  
新潟市南区赤十字奉仕団団員  
庄瀬地区自主防災会会員  
南区自治協議会委員

母







ままやの台所。ただいまラーメン作成中！

## 直売所に間借りして新たなスタート

そうしているうちに、平成14年に渡辺建設の社長さんが、年をとつてもみんなが集まれるような居場所を作りたいという地域の声にこたえて、直売所と居場所を併設した施設「フレンド優心」を建造してくれた。その隣に、ままやが加工品を作るように台所を付設して、家賃月1万円で使わせてもらえることになった。台所道具はこつちで揃えないといけないけど資金がなかったから、当時の立ち上げメンバー10人で出資金を出し合つて購入したん

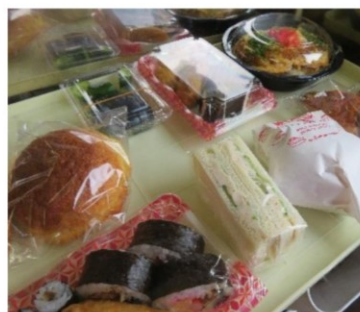
で。ジャムやエゴマ油を作るかたわら、庄瀬で春祭りとか秋祭りとか行事があると、おこわやおやきを作ったりして、ボランティアとして協力していたんだわ。最初は台所の間借りで始まったままやの活動が、居場所や食堂の運営とだんだん広がっていったんて。

## わつての仲間にならねかね

去年のこと。日中にとまどき直売所に買い物に来るお母さんがいて話を聞いたら、自分の子どもが他人との接触が苦手で中学生の頃から学校に行けないで家にいる、だから自分も働きに出られないんだつていうんさ。「おめ、そんげしてるんだつたら、わつての仲間にならねかね」つて誘つたんさ。そんで家にいる子をお母さんの車に乗せてくることになったわけ。

最初は車から降りてこなかったけど、「あかりちゃん(仮名)、ちよつと玉ねぎの外皮むいてくんねかね」つていうと建物の外で皮むきをしてくれた。「あかりちゃん、私玉ねぎ切ると涙が出てだめらつて、あかりちゃんが玉ねぎ係になつて」つていうと「はーい。私は涙出ないです」なんていつて台所の中に入つてくれるようになった。居場所に来ているじいちゃんたちが話しかければ答えるようになったんて。

お母さんがすつげ喜んで。ままやに手伝いに来るようになって、家族以外の人と話ができ



木曜日の行商メニュー。本日はかつ丼(漬物付き)に、助六寿司。パン好きのためにサンドイッチやハンバーガーもパン屋さんから仕入れてます！

## ダルクでカレーをご馳走に

ままやに来るようになって、もう少して1年経つんだわね。

庄瀬にダルク※ができたときは大騒ぎになった。なんの前触れもなかったから。最初は反対する人も結構いたみたいだけど、今はもうそういうこと言う人は少ないね。ダルクの人たちが気を遣つてるのが良く分かる。地域のためになろうと思つてね、この辺とか中学校の跡地とかの草刈りをしたり、冬は子どもたちのために通学路の雪のけもしてくる。

※ダルクは1985年に薬物依存の当事者が東京都内に設立した民間の依存症リハビリ施設。覚せい剤、アルコール、ギャンブル等の依存症から解放されるためのプログラムを持ち、入寮して同じ悩み(病気)を持つ仲間と共感し、今までとは違う生き方をする練習の場所。全国的な組織で、それぞれが独立してフラットな連携を持っている。新潟ダルクの設立は平成30年。令和4年5月現在で日本国内に65団体91施設、韓国に3団体3施設ある。



うちらも世話になつて、

「エゴマ刈りが、ほんにせつねわ。わつてババばつかりうてがんに！」

つてお母さん(お嫁さん)にこぼしたら、ダルクに頼んでみればつて教えてくれた。頼んだらすつて快く「ぜひ協力させてください」つて言つてくれて。それから毎年エゴマ刈り頼んでるんて。

うちら、ダルクでカレーご馳走になつたんよ♪  
ダルクができて間もない頃、更女の活動で年末にのつぺ作つて持つていつたら、「僕らも今日カレーつくつたんで、一緒に食べていつてくださいつて言われて。食べながら自己紹介したりしてね、みんな普通の人と同じうて。

## ままやは庄瀬の情報の宝庫

フレンド優心がままやの拠点になつてから今年で20年、平成26年に直売所と居場所をままやが運営することになつて、令和元年には食堂をオープン。

最初はまとまつた注文の配達しかしてなかつたお弁当も、ひとり暮らしの人がそれを聞ききつてウチにもウチにもつて広がつて、配達する数も地域も増えてきた。木曜日の食堂に来る人が、今日の夕飯にするつてかつ丼をテイクアウトしたり、「今日、うちカレーにするつけカツだけ揚げてくんない？」なんて注文もあるし。ま、なんでも対応するつて感じね。

## しなの沢工房 ままやの活動

**売店** 火・水・木 9:00~13:00営業

庄瀬の野菜・果物・加工品・パン・お菓子・日用雑貨・古着などの販売

**茶の間** 火・水・木 9:00~13:00営業

お茶のみ、おしゃべりする楽しい地域の茶の間  
利用料100円

**食堂** 木 9:00~14:00営業

おいしいメニューがいっぱいの食堂と  
お茶のみ、おしゃべりする楽しい地域の茶の間

## 配達 & 行商

火 お弁当(団体のみ)配達

水 お弁当配達+行商

木 テイクアウト・お弁当+パン+野菜+お菓子の行商

住所 南区庄瀬1154 電話 372-3111

お弁当の配達や行商に来てほしい方は、お気軽にご連絡を！  
(庄瀬近隣は対応可能)

ままやができるまでは、野菜を作つて誰かにくれたり、料理を作つて誰かにくれたり、そんなことはしていただけど、みんなそれぞれが個々にやつていただけだつたんで。みんなが集まれるような場所があつて、そこでお茶のみしたり、野菜売つたり、お話ししたりできる憩いの場がままや。そこに来れば、庄瀬のことが何でもわかる。子どもが生まれた、入院した、退院した。ままやは庄瀬の情報の宝庫だからね。

課題は広報かな。常連のじいちゃんたちもいるけど女の人に

比べて男の人の参加が少ない。

お弁当を注文してくれるじいちゃんたちがままやに足を運んでくれたらな。だんだんと人づてに広がつてきてはいるけど、もつともつと庄瀬の人たちに来てもらいたい。なんかいい広報の仕方ないのかな。

庄瀬の人、ほかの地区の人、皆さん一度覗きにきてください♥



常連のおじいさまたち。思い思いの昼ご飯をいただいています。左上はラーメン、右上の方は天ぷらうどんセットを注文したところ、右下はかつ丼ただいま到着！すべて550円也



## 長男の妻



### 西山ゆき (にしやま ゆき)さん

庄瀬地域生活センター センター長

千葉県木更津市生まれ。

平成26年より同職。年間20本近い事業を取り廻す

白南中学校地域教育コーディネーター

新潟市防災士の会女性部会(NBJ)副会長

新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員

ママさんバレー団員

バリバリ働いていたから都会っ子と勘違いしていたけど、よく考えたら千葉の田舎者だった。なので、生活に支障のない程度の田舎なら、むしろゴミゴミした都会で暮らすよりいいなど。そんな風に感じながら、親子4人で快適に過ごしていたところに、新潟への転勤が決まったんです。

## 東京日本橋から、長野を経て、庄瀬へ

日本橋の商社に勤めていた時に銀座の郵便局に勤務していた主人と知り合って結婚、その後すぐに、長野に転勤することになりました。転勤には抵抗がありました。知り合いもいないし、土地勘もない。住まいはJR長野駅近くで善光寺まで歩いていけるような便利な場所だったんですが、日本橋に比べるとものすごく不便に思えたんですね。

でも同じアパートに同世代の夫婦がいて仲良くなったり、母親学級で親しい友人ができた、だんだんと楽しくなってきました。東京で

## 長男の嫁の庄瀬暮らし

やっぱり嫌だったですよ。やっと長野の暮らしに慣れて友達もできて楽しくなってきたところに、また異動って。

しかもさらに田舎で、さらに同居。最終的には新潟に戻るって前から言われていたから、覚悟はしていたんですけど。

庄瀬に来て、言葉がわからなくてすごくカルチャーショックでした。当時は大じいちゃんも大ばあちゃんも健在で、主人の独身の妹も一緒に3世代の9人家族。いきなりいろんな世代の人と同居することになったわけです。

大ばあちゃんの所には毎日近所のおばあちゃん遊びに来るので言葉を覚えなきゃいけないし、買い物に行くから道を覚えなきゃいけないし、2歳と1歳の子どもに早くお友達を作っておきたいから、公園や児童館に連れて行かなきゃいけないし。目まぐるしい日々でした。

そんな中、久子さんが友達を早く作った方がいいって、いろんな場を紹介してくれたんです。ママさんバレーのチームやダンスサークルとか。それって、なるべくたくさん一人で外に出る機会を作ろうとしてくれたんだと思います。帰ってくるまで子どもは自分が見るから、行きなさい、行きなさいって。お互い出たいときは出て、その間の家事育児はフォローし合おう、みたいな約束が最初からあった。長男の嫁で田舎だから、すごく身構えて庄瀬入りしたんですが、いわゆる長男の嫁とは全然違っていました。ずっと先進的でした。ありがたいことです。

## ボランティア？ いえ、天職です！

庄瀬では製造業の職員や行政の事務職補助、保育園の保育助手などいろいろな職種の仕事をしてきました。平成26年に庄瀬地域生活センターの職員の募集があつて採用され、現在はセンターの施設管理に加えて、庄瀬コミュニティ協議会が行う事業を切り盛りしています。

コミ協の各部会が実施する事業の企画から





## 令和3年度の庄瀬コミ協実施事業

- 毎月 コミ協だより発行(総務部会)、FBを更新  
 4月 春まつり(全部会)  
 6月 はかろう体重大作戦PR(健康福祉部会)  
 6月 ラベンダープロジェクト(生活環境部会)  
 8月 花火大会(全部会)  
 10月 サザンフラワーロード作戦(生活環境部会)  
 10月 地区防災計画策定・総合防災訓練(自主防災部会)  
 11月 秋祭り 楽しもってひろば(全部会)  
 12月 ちゃい文々さん講演会(教育文化部会)  
 12月 ソフトバレーボール大会(教育文化部会)  
 12月 堀部安兵衛を偲ぶお茶会(教育文化部会)  
 2月 コミ協カレンダー発行(総務部会)

などなど

準備、運営を行うのですが、最初は全くの手探り状態でした。去年は何をしていたのか、書類を引つ張り出しては仕事の流れを確認するという感じで、全体を把握するのに2年。3年目になると少し余裕が出て事務作業の効率化に着手。4年目は毎年同じことをやってもダメなんじゃないか、と自分なりの思いが出てきたんです。

コミ協の役員さんの中には、最初の頃の自分と同じように、何をしたらいいかわからない方もいらっしゃいます。あて職だったり頼まれたりで役員になってしまい、あつという間に1年という任期が終わって、後任に引き継ぐものがわからない、という感じです。

私は各部会全体の流れを見るから、地域の課題が見えてくる。今後は地域の方々とタッグを組んでチームで進めていきたいと思っています。

特に防災と情報発信は重要だと思います。新聞に庄瀬の事が載ると地域のおじいちゃんおばあちゃんが喜んですよ。自分と関係のない人の記事でも、庄瀬の誰かが頑張っていると思うと誇らしいんです。なのでコミ協の事業はせつせと取材要請します。フェイスブックも県外の庄瀬出身者がすごく喜んでレスをくれるので更新は欠かせません。そして防災は、要は災害になったら、絶対助かりたい!!助かってほしい!!ってことで真剣です。

昔からアルバイトでも仕事でもわりと一生懸命やるタイプで、一生懸命やると売り上げが一番になるとか結果がでる↓褒められる↓嬉しくなる&慣れてきて楽しくなる。そうなるってこれ天職か?ってすぐ思っちゃうんですよ。今までやった仕事はほぼ全部天職です!

## 義母とは会議、夫とは業務連絡

久子さんの影響があります。昔は何を好き好んで思ってた。将来お義母さんみたいにああいうボランティアな事やりたい、って全く思わなかった。でもセンターの仕事をするようになって変わりました。行事がらみで一緒に活動することもあるし、家でも相談したり報告したり、と話しているうちに企画がまとまることも多い。



庄瀬コミ協主催のお祭りで、「決闘! 高田馬場」を上演。企画はもちろん準備、運営、そして出演まで致しました(写真左の黄色い着物)。糊屋のばあさん役

別にアイデアを出し合っている意識はないんだけど、ふたりの会話が会議みたいになっちゃってる。互いの夫がドッチラケの中、お義母さんと私ふたりがガンガン意見を戦わす、というのはよくある光景です。

主人もすごく忙しいからしゃべる時間はあまりないのですが、私のやっていることには賛同してくれているようで、おもいつきりやるが良いと思っているみたい。ただ手伝いや協力が必要な時は早めに言ってくれと。子どものサッカーの送り迎えをどっちがやるか、主人とのマス



## 一緒に資格を取ったのに…

防災はすごく大事だと思っていたので、二人で防災士になる研修と試験を受けて資格を取りました。南区の防災会に所属して一緒に頑張ろー!! って言ってたのに、向こうはどんどん先に行ってしまった。南区だけでは収まらなくなつて、市の防災士の会女性部会副部長になつちやつた。「あなたはどこまで行くんですかー?」って感じです。



## 西山英彦さん (にしやま ひでひこ)

白根大通郵便局局長  
南区庄瀬生まれ。  
東京、長野を経て平成14年より新潟市内の郵便局に勤務。令和4年4月から兼務で南区江南区部会長に。超多忙な日々を送る。

今は無きよさこいグループ  
庄神会(しょうじんかい)メンバーとして、庄瀬小学校全校生、白南中学校の有志生徒に踊りを伝授している。

今ではこんなと教えられてます、災害について。南海トラフがきたらとか、簡易トイレは必須とか、自家発電機つて郵便局に置けないの?とか。確かに郵便局に自家発電機があつたほうがいいのかもしれない。普段、日中8時間は大通郵便局にいるので、昼間に大通地区で災害があつたら、ここを拠点に何かできないか。郵便局も地方創生を掲げているので、そういう視点は大事だと思っています。

## 喜んでくれる人がいるのが 嬉しいんでしょうね

母が令和3年度で庄瀬小学校の地域教育コーディネーターの役目を終えたので、引退して少しはゆつくりするのかなと思つたら、まあ、いいですよ、家に。母も妻も忙しいですが全然問題ないですね、自分も忙しいから(笑)。

個・個・個なんです。お互い頑張つて、三者三様バリバリやつてます。

母は昔からおもしろいこと、楽しいことが好きで、特に人と一緒に何かやるのが好きで。大変だけどやりがいがあるんでしょうね。喜んでくれる人がいるのが嬉しいってゆうか、ふたりともそれでやってるんだと思うんですね。

母を見てると自分がこの人の子なんだなと思うことがあります。20年くらい前に母に誘われて、よさこいのグループで踊りはじめたん

です。目立ちたがり屋じゃないと思うけど、人の前に出るのがきらいでもないみたい。皆で体を動かして踊るっていうのが楽しくなつてきた。私の趣味になったんです。

グループは解散してしまいましたが、踊り好きは変わらずで、5月に庄瀬小学校の子どもたちによさこいを教えてきました。

今は仕事がないんで、なかなかそれ以外の事はできていませんが、将来「こういうこと、やってみようよ」って誘われたら、きつと「いいね! やろー!」ってなると思います、私も(笑)。

庄瀬小学校の全校生徒が校庭に集合! 運動会に向けて、みんなで“よさこい”踊りを特訓。  
西山先生の気迫あふれる踊りに触発されて、子どもたちの動きも一段とキレのある仕上がりになりました







## 7/29(金)よしえっこ♪

行事名；出前スクール in よしえっこ  
主催者；ふれあい茶の間  
開催場所；味方 吉江集落開発センター

味方地区の吉江で、毎月3回開催している「ふれあい茶の間」。いつもは15名前後の妙齡のご婦人が集っていますが、この日は夏休みの子どもたちが10名参加。  
高齢者体験のあと、カレーを食べたりクイズをしたり、スィカ割りをしたり、一緒に楽しい時間を過ごしました。



「こうやって、つけるんだて！」

健康には自信があったのに、急遽、精密検査を受けることになったSC(生活支援コーディネーター)。そこでハタと考えました。「もつと年をとるとどんな風に体に支障がでくるんだろう」。ならば、お茶の間で高齢者体験をやってみよう！  
ということで社協がお手伝いしました！

## 夏休みのお茶の間で 高齢者体験！



発案者の仲山SC



社協が高齢者体験の手順を説明しています



## 8/16(火)まがりっこ♪

行事名；出前スクール in 曲りっこ  
主催者；曲通ふれあい広場  
開催場所；月潟 曲通多目的共同利用施設

月潟地区の曲通で毎月1回開催されている「曲通ふれあい広場」。こちらは茶の間では珍しく、男性陣が多く参加しています。  
「日頃、農業で身体を鍛えてるから、そんなにつらくなかった」が大人の感想、「高齢者の気持ちがわかった」が子どもの感想。こちら、体験後にクイズ、カレー、輪投げを楽しみました。



「曲通ふれあい広場」の主催者が本日の開催主旨を説明します



「ここんところがゆるいとダメなんさ」





「Rakkura らっくら」は  
家族以外と話す機会が少  
ない方々にゆったりと過  
ごして頂く居場所です

昨年度から始まったひきこもりに関する南区社協の取り組み。悩んでいる家族のための「家族の居場所」に併せて当事者の方が過ごす居場所「らっくら」を開催しています。リラクセスして過ごしていただけるよう漫画本をご用意。それを入れる本棚をボランティアさんが作ってくれました。まるでプロの仕事です!!

## 本棚作成ボランティア



本棚を作ってくださった個人ボランティアの阿部敏夫さん



## お庭ボランティア



左がローターアクトの熊谷真梨子さん、右が個人ボランティアの藤島精治さん

毎年、春になると庭にお花を植えている白根地区の石井さん。雑草を抜いて土を耕し、お花を植え付けるのは、今年ひとりではちよつと無理なので、ボランティアさんに応援を頼みました。  
お庭ボランティアをお願いしたら、おふたりともすぐにご快諾くださいました。きれいに植え付けられた花壇にみんなでニッコリ!



黄色はマリーゴールド、濃いピンクと薄いピンクは両方ともナデシコ



アクリルたわし完成品♡

ご希望でアクリルたわし作りに挑戦。作業中も笑いが堪えません。参加したい方、集まれ!!

## 元気力アップ・サポーター応援事業



皆でお話しながらたわし作り、やっぱり楽しい!

未だコロナ禍で、施設等でのボランティア活動がなかなか再開できない昨今。南区社協では、毎月第2木曜日の午後に元気力アップ・サポーターの応援事業を実施しています。この日は、デイサービスセンターうすいの

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 南区社会福祉協議会  
南区ボランティア・市民活動センター

〒950-1214 新潟市南区上下諏訪木817-1

TEL : 025-373-3223 FAX : 025-373-6125 ◆開所時間 8:30~17:15 月一金

◆ボランティア活動についてのご相談、ご意見などありましたら、お気軽にお問い合わせください

